



1916年創立
今年で103年目です

桃花だより

From TOKAJUKU

〒584-0008 大阪府富田林市喜志2067番地 TEL.0721-23-2076 [E-mail] tokajuku@m3.kcn.ne.jp [URL] https://www.tokajuku.com/

今回のピックアップ部署 成人部



梅雨の止み間を利用して、6月12日に滝畑にある光滝寺キャンプ場で一泊キャンプを行いました。キャンプの活動のメインは野外料理で、日常経験できない調理でしたが、皆さん慎重な手つきで野菜の皮を剥き、かまどで飯盒炊爨をして美味しいカレーが出来上がりました。夜は満天の星の下、キャンプファイアーで焼き芋も作りました。

寝袋での宿泊も普段の生活では味わえない体験で、皆さん戸惑いながらも大いに楽しめていました。



消防署立ち合い避難訓練

桃花塾では毎年各部署ごとの火災を想定し、消防署立ち合い避難訓練を行っています。7月9日(火)の訓練では、児童部と第二成人部の建物を中心とした計画で行いました。

今回は夜間を想定した訓練だったため、夜勤者や遅出スタッフのみの限られたスタッフで避難誘導を行いました。消防隊の方が来られるとスタッフの顔もいつも以上に緊張感もち終始ピリッとした表情でした。施設の近所に住むスタッフが連絡を受けてから到着するまでの時間の確認や、他部署との連携や建物内にある消火栓を利用するなど本番さながらの訓練を行いました。

利用者の皆さんは、スタッフの声かけでスムーズに避難でき、日頃の訓練を良くされてますねと消防隊の方からお言葉をもらってみなさん喜んでいました。

実際に火災はあってはならないことですが、最近はいづいかなる災害が起こってもおかしくない時代であり、「いざ」という時に困らないよう日頃より準備を心がけていきたいですね。



ももかちゃんコーナー

通所部と夏祭り!



富田林・吉村善美市長と一緒に
ごきげんももかちゃん♪

8月3日、喜志西小学校区の夏祭り「夏祭りフェスティバル」に通所部が出店しました。絶好のお祭り日和……というよりも暑いくらいでしたが、桃花塾農園で栽培した美味しいとうもろこしを焼いて販売しました。お客様は「今年の出来はどう?」「美味しい!」など声をかけてくださり、たくさんの方に購入していただきました。

他にも子どもたちの勝負心をくすぐるくじ引きを販売し、こちらも行列ができました。児童部の子どもたちもお祭りに来て、ももかちゃんと一緒に夏のひとときを楽しく過ごしました。喜志西小学校区町づくり協議会の会長・田中さんも「障がいのある子どもたちと地域の子どもたちが夏祭りを共に楽しみ、いい思い出になればと考えています」とおっしゃっていました。通所部では今後も地域を盛り上げる活動に参加していきたいと思っています。



後援会入会案内

当法人では、当後援会の趣旨にご賛同いただき、ご支援くださる会員を募集しております。ぜひ当後援会に入会して、私たちの活動にご協力いただけないでしょうか。

◆ 会費 / 1口 500円 ◆ 賛助会費 / 1口 2,000円

事務局：〒584-0008 大阪府富田林市喜志2067 社会福祉法人 桃花塾内

TEL.0721-23-2076

(郵便振替) 00940-4-6114



編集後記

今回は祝・第50号記念です。

第1号は今から16年前の2003

年に発行されました。韓国ドラマ『冬のソナタ』が放映されヨン様ブームだった年。

当時の自分のことを思い出しても懐かし、時の流れを感じます。

今号よりフルカラーでお届けします。これからもより分かりやすく楽しんでいただける工夫をしていきたいと思っています。

編集担当 竹下桂子

令和元年9月30日発行 「桃花だより」第50号 発行元:社会福祉法人 桃花塾



伊藤 学さん 作

それぞれの夏のできごと

～各部署より～

児童部

8月21日に毎年恒例になっている児童部の夏祭りを実施しました。屋台巡りとステージイベントを行い、子どもたちも大満足だったようです。屋台は、かき氷、ポップコーン、綿菓子、ミルクせんべいの食べ物系屋台と、くじびき、キッキングスナイパー、水中コイン落しのある物系屋台がありました。



ステージイベントでは希望者がカラオケやダンスを披露。イベントを見にきていた観客からの歓声を浴びて大いに盛り上がっていました。



第二成人部



茶華道部が発足し3年目になりました。華道部の活動としては年間5回程度、お茶のお稽古をしています。現在の部員は第二成人部の9名です。2年間は同じメンバーで活動していましたが、この6月から新入部員1名を迎え、今まで以上に楽しい時間を過ごすことができている。

完成した作品は施設内はもちろん、お客様を迎えての会議でのテーブルにも置かせていただきました。児童部の子どもたちが学校から帰ってくると、きれい!と喜んでくれます。また、利用者の帰省時にはご家族の方々にもご覧になっていただいています。これからも、綺麗なお花をいけ、施設内を明るくしていきたいです。



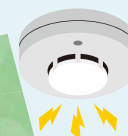
通所部

利用者の方々の楽しみな行事の一つに社会見学があります。年に2回実施していますが、候補地を決める時に、通所部の自治会役員さんたちがプレゼンテーションをしてくれます。スタッフの予想したところと違うところを選ばれることも多々あり、プレゼン後はみんなの多数決で決定します。7月の社会見学はホテルでのバイキングと明治製菓の工場見学となり、お土産も頂いて皆さんご満悦でした。ちょっとした特典が嬉しかったです。

7、8月には富田林支援学校と西浦支援学校の高等部の生徒さんが作業所体験にきています。利用者の方たちが先輩としていろいろと教えている姿を見ると、とても頼もしく、いい交流ができているのではと思います。



グループホーム



桃花塾には現在グループホームが7軒あります。そのうち「ももホーム」、「ぶどうホーム」2軒にこのたび火災通報システムと火災報知器の連動工事を実施しました。8月8日に富田林消防署の工事終了検査において適正の確認をいただきました。

現在のところ私たちのホームにはまだ設置義務はありませんが、ホームの安全性を高め、また消防法施行令の改正を見据え、今後とも防火安全対策の充実をさらに図ってまいります。

ピーチネット

最近、ヘルパーさんの不足が地域課題として挙げられています。地域で生活するためには、それぞれの方の生活の場所に行って支援することが必要とされます。1週間のうち、1日だけ1～2時間の枠にヘルパーさんが見つからないために、入院を続けざるを得ない難病の方々もいらっしゃいます。

各市町村の障がい者地域自立支援協議会などを通して、ヘルパー不足だけでなく、いろいろな地域課題を発信しつづけていきたいと思っています。



ピーチサークル

今回はスライム遊びを紹介します。洗濯のりと洗濯洗剤、お好みで絵の具という簡単な材料です。すべてをビニール袋に入れ揉み込んでいくだけです。始めはビニール袋の上から揉むので、ベタベタした感触が苦手な子どもも安心して触れます。ある程度まとまってきたら袋から取り出し、更に揉み込みます。洗濯のりがとろーんと流れ出る様子にも興味津々。

少しずつ慣れてくると、ぶよ玉やストロー・ビーズなどを埋め込み始め、スライムが隠れるほどに埋めました。埋め込む時の感触も十分に味わいました。

スライムは、保護者の方もスタッフもいつのまにかずっと触り続けてしまうような気持ちのよい感触の魅力があります。雨の日のお家遊びや感触遊びをしたいときにぜひお試しください。



ジェントルティーチング・コーナー

— 桃花塾ではサービス提供の実践の基本をジェントルティーチングにしています —

ジョン先生の実践から～ウィルマさんとの出会い～(その1)

ジェントルティーチングと出会ってから30年が経過しました。その間に何回かジェントルティーチングの創始者であり実践者であるジョン・マクギー先生に桃花塾に来ていただきました。利用者の人によっては初めての出会いが短時間であったにもかかわらず、今も暖かな思い出に残っていることを話してくれます。

ジョン先生は2012年11月に逝去されるまでにいろいろな国に出向いてコミュニケーションを取ることが困難な人々との交わりを深めてこられました。「皆さんがうまく付き合えない、大変だと思う人々を紹介してください」とよく話しておられました。ジョン先生と出会うことによって、周囲の人々から「大変な人」と思われていた人たちは変わっていききました。周囲の人たちも変わっていききました。その中でも特に深い記憶に残っているウィルマさんのことについてお話しします。

私が初めて彼女に出会ったのは彼女が40才を過ぎた頃です。子ども時代からの激しい自傷行動が止むことなく続いていて、ご家族を含む支援する人々は困惑していました。さまざまな治療方法が使われてきましたが、どれも功を奏することなく、彼女の鼻や耳は歪み、片方の眼は失明していました。そのような時に、ジョン先生との出会いがありました。初めてウィルマさんに会うことになり、偶然ながら私自身もウィルマさんの居住するところと同行することになりました。(続く)

理事長 岩崎 正子